

かくだ市議会だより



第399回臨時会

- 臨時会の概要 2
- 常任委員会の構成 3

第398回定例会

- 定例会の概要 4
- 決算審査特別委員会 5
- 議案審議結果 6
- 一般質問 7～11

角田市議会から

- ご意見募集結果 11
- 角田高校3年生との『まちづくりワークショップ』の報告 ... 12

【今号の表紙】『ありがとう! 災害ボランティアの皆さん!』

台風19号により、角田市でも736世帯が床上浸水となるなど、甚大な被害を受けました。災害ごみの搬出や土砂の除去などに、市内外から来ていただいた災害ボランティアが大活躍。終わった時には、被災された方から何度も感謝の言葉が送られていました。《撮影》社会福祉法人角田市社会福祉協議会
撮影日：2019年10月20日 場所：横倉地内

表紙写真・イラスト等募集しています

詳細は角田市ウェブサイト内「かくだ市議会だより表紙写真・イラスト等募集」をご覧ください。



正副議長就任のごあいさつ



副議長
相澤 邦戸



議長
渡邊 誠

平素、皆様には、角田市議会に対し、格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

また、この度の台風19号により被災された皆様に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

去る10月2日の第399回臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。任務と使命の重大さを深く感じ、身の引き締まる思いです。

先ずは、当局と連携しながら被災された皆

様に一日も早く日常生活を取り戻していただくため、復旧・復興に全力で取り組んで参ります。また、急激な少子高齢化や人口減少への対応など待ったなしの課題が山積してあります。市民の福祉向上のため角田市議会基本条例を遵守し、議会の役割をしっかりと果たしていく決意です。

今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

この度の台風19号によってお亡くなりになられた方へ衷心よりお悔み申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

また、ご尽力頂いているボランティアの皆様に対し、心より敬意を表します。

我々角田市議会は、一日も早い復旧・復興に向け全力で取り組んで参ります。

第399回
臨時会

新しい議会の構成が
決まりました

選挙

▼仙南地域広域行政事務組合
議会議員
星 守夫

▼みやぎ県南中核病院企業団
議会議員
八島 定雄
黒須 貫

▼宮城県後期高齢者医療広域
連合議会議員
日 下七郎

▼選挙管理委員及び同補充員
※新は新任 再は再任

○選挙管理委員
横 健夫
藤 啓夫
佐 藤 啓夫
新 塚 啓夫
再 藤 啓夫
再 齋 啓夫

○選挙管理委員補充員
新 毛 勝美 (第一順位)
新 塚 利勝 (第二順位)
新 野 文雄 (第三順位)
再 水 久雄 (第四順位)

議会運営委員会

議会の運営・改革や会議規則等について協議、調査を行います。

委員長 武田 暁
副委員長 武藤 広一
委員 菅野 マホ
委員 星 守夫
委員 八島 定雄
委員 馬場 晴

議会だより編集会議

かくだ市議会だよりの編集・発行や議会の広報等に関することを協議します。

会長 武藤 広一
副会長 武田 暁
委員 菅野 マホ
委員 星 守夫
委員 八島 定雄
委員 馬場 晴

傍聴者数 1人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ82人

常任委員会の構成

市の仕事を大きく2つの分野に分け、専門的に調査・審査等を行います。

凡例：①所属会派
②住所
③電話番号

総務産業常任委員会

総務部、農林振興課、商工観光課、会計課、議会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に関する事項について、調査や審査を行います。

 <p>◎委員長 ほつ た こう いち 堀田 孝一 ①志政クラブ ②君萱字仏供田13番地 ③68-2809</p>	 <p>○副委員長 む とう こう いち 武藤 広一 ①志政クラブ ②毛萱字平吾1番地 ③65-2225</p>
 <p>きく ち とし え 菊地 利衛 ①令和の風 ②花鳥字三森138番地 ③68-3020</p>	 <p>こ みなと たけし 小湊 毅 ①創生会 ②笠島字竹ノ内6番地1 ③65-2393</p>
 <p>わた なべ まこと 渡邊 誠 ①無会派 ②鳩原字瀬ノ木橋41番地 ③69-2057</p>	 <p>お じま ただし 小島 正 ①市民クラブ ②小田字西屋敷95番地 ③62-5366</p>
 <p>くさ か しち ろう 日下 七郎 ①日本共産党角田市議団 ②島田字桜井2番地1 ③63-2405</p>	 <p>つか のめ こう じ 柄目 孝治 ①無会派 ②角田字牛館12番地 ③62-3171</p>

教育厚生建設常任委員会

市民福祉部、都市整備課、下水道課、水道事業所及び教育委員会の所管に関する事項について、調査や審査を行います。

 <p>◎委員長 くろ す とおる 黒須 貴 ①志政クラブ ②島田字四拾刈12番地 ③62-0241</p>	 <p>○副委員長 や しま さだ お 八島 定雄 ①日本共産党角田市議団 ②横倉字平41番地2 ③62-5540</p>
 <p>かんの まほ 菅野 マホ ①令和の風 ②角田字寺前139番地3 ③62-4188</p>	 <p>たけ だ あきら 武田 暁 ①創生会 ②尾山字横町27番地 ③62-1132</p>
 <p>ほし もり お 星 守夫 ①市民クラブ ②佐倉字小山東196番地 ③62-2520</p>	 <p>ば ば みち はる 馬場 道晴 ①無会派 ②花鳥字里前139番地 ③68-3017</p>
 <p>ゆの むら いさみ 湯村 勇 ①市民クラブ ②横倉字古長岡11番地 ③62-1532</p>	 <p>あい ざわ くに こ 相澤 邦戸 ①無会派 ②角田字町100番地 ③62-2475</p>

第398回
8月定例会

第398回定例会は8月2日から8月30日までの29日間の会期で開かれました。

一般質問では8人の議員が、市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

市長から提案のあった教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員会委員の選任、補正予算、条例の制定・改正、決算などの議案25件については、審議の結果、原案のとおり同意・可決・認定し、人権擁護委員の候補者の推薦に係る諮問1件を適任と答申しました。

議案
第60号

危険ブロック塀等除却事業

従来の制度「角田市スクールゾーン内危険ブロック塀等除却事業」の補助金の限度額・対象路線等の拡充を図り、危険ブロック塀等除却の推進を図るため、735万円追加するもの。

一般会計補正予算（第3号）

幼稚園・保育園等の利用料の一部を無償化

令和元年10月1日からの幼稚園・保育所・認定こども園などの利用料について、対象児童の利用料を無償化にするために必要な経費3,061万7千円を追加するもの。

問 今回、制度拡充した危険ブロック塀について、既に除却してしまった分は補助の対象になるのか。

答 今回、スクールゾーン外も小中学生が通学路として使用していることから、市内全域を適用させたものだが、既に除却した場合においては、新制度の対象とはなりません。

幼稚園・保育園等の利用料無償化の主な対象施設

主な対象施設等	対象児童	無償化上限額	備考
保育所・認定こども園（保育分）	3～5歳児、住民税非課税帯の0～2歳児	なし	副食費（おかず代）を別途徴収（年収360万円未満相当世帯は副食費免除）
幼稚園・認定こども園（幼稚園分）	満3歳児～5歳児	月額25,700円	新制度未移行の幼稚園も含む
幼稚園（預かり保育）	満3歳児～5歳児	月額11,300円	上限額は利用日数に応じた最大月額
認可外保育施設等（一時預かり事業、ファミリーサポートセンター等含む）	3～5歳児	月額37,000円	
	非課税世帯の0～2歳児	月額42,000円	

問 無償化上限額の基準は何かから算出したのか。

答 厚生労働省から示された対象施設ごとの無償化の上限額を元に算出した。

問 歳入に計上されている子どものための教育・保育給付費負担金等の財源は何か。

答 財源は幼児教育・保育の無償化に伴う国県負担金であり、10月からの消費税率の引き上げ分の使い道の一つに幼児教育の無償化が挙げられていることから、消費税率の引き上げ分が充てられると考えられる。

■一般・特別会計補正予算一覧

(単位：千円)

会計区分	補正額(8月)	補正後の額
一般会計	226,234	13,135,191
特別会計		
国民健康保険事業	1,964	3,343,867
後期高齢者医療	2,021	344,939
介護保険	50,442	3,201,822

■一般会計の主な補正予算項目

歳入（収入） (単位：千円)

項目	補正額
子ども・子育て支援臨時交付金	30,560
前年度繰越金	114,016

歳出（支出） (単位：千円)

項目	補正額
教育・保育給付事業	31,397
上水道管路耐震化事業費出資金	22,082
道路改良事業（地区振興協議会事業分）	22,000

反対討論……武田 暁

危険ブロック塀等除却事業は歓迎すべきだが、早期に全額自費で除却した方が補助対象にならないことは無用な不公平感を生みだす。補助対象箇所数も判明し、予算措置が可能ならば既に除却した方も対象とすべきである。

賛成討論……馬場 道晴

幼児教育・保育無償化に係る経費や地区振興協議会が要望した道路改良事業、危険ブロック塀等除却事業、北郷小学校排水管更新工事費など、当局による詳細な説明と質疑に対する答弁にて、必要な補正であると理解することから、賛成する。

議案
第51号

会計年度任用職員との給与及び費用弁償に関する条例の制定

特別職非常勤職員・臨時的任用職員の任用の厳格化、一般職非常勤職員の任用等に関する制度を明確化するため、条例を制定するもの。施行期日は令和2年4月1日。

総務財政常任委員会での質疑

問 会計年度任用職員に期末手当を支給しないよう、パートタイムにする自治体があるかと聞か。

答 パートタイムの会計年度任用職員でも、原則6ヵ月以上勤務する場合は、期末手当を支給する必要がある。

討 論
平成30年度角田市一般会計決算

反対討論……日下 七郎



角田市は、市の中心に市街地を形成させるため、区域内に住宅を集中させるまちづくりを進めていることから、郡部に居住する方が少なくなってきた。

また、放射能汚染廃棄物については、バグフィルターで除去しきれない放射能汚染物質が漏れる心配があることから、放射能汚染廃棄物は焼却せずに隔離保管すべきである。

更に、民間保育所が建設されたが、園庭は平らではなく、雑草が生えており、子ども達が外で遊んでいない事の裏付けとなっているのではないか。

以上の問題を指摘し、反対討論とする。

賛成討論……馬場 道晴

議員選出の監査委員を除く議員16人で構成する決算審査特別委員会を設置し、説明・質疑の後、3つの分科会に付託、詳細にわたる審査を行った。その後、各分科会長より審査内容の報告等が行われ、討論・表決の結果、平成30年度決算については、認定すべきものと決定している。

財政が厳しい状況ではあるが、最小の経費で最大の効果に努められた当局の努力に敬意を表するとともに、今後市民の福祉向上のため尽力することを求め、賛成討論とする。



反対討論……武田 曉



市長交際費から「祝儀」名目で3回にわたり、熱日高彦神社の祭事に計1万5千円が支出されている。平成29年度にも同様の支出が2回ある。新嘗祭や例大祭等の宗教法人の祭事に、市民の皆様の税金からなる公費を「祝儀等」として支払い、更には公用車を使い、運転手を拘束して参加している。これは公金や公の財産を宗教上の組織もしくは団体の使用、便益もしくは維持の為に支出してはならないとする日本国憲法第89条に抵触する恐れが非常に高いことから反対するものである。

分科会
審査

総務
財政
災害対策事業

大規模災害に備え、総合的な防災訓練の開催、防災資器材等の備蓄・整備、自主防災組織設立の推進、防災士の育成等の支援等を行うもの。

問 大雨時に広報車で注意喚起を行った際、雨音で広報車の声が聞こえない場合があったが。

答 大雨の場合は、事前からの行動が必要である。テレビのデータ放送やインターネット等から情報を得ることも重要であるため、情報の集め方などを防災講話等で周知していく。

育生
教育
介護予防・地域
支え合い事業

在宅一人暮らし・二人暮らし高齢者等に対し、外出時の支援や軽易な日常生活上の援助を行うことにより、在宅で自立した生活が継続できるよう支援するもの。

問 一人暮らし高齢者の火災や空き巣等の防犯対策はどうしているのか。

答 防火対策として、消防署・民生委員・市職員で、火災の多い秋から冬に一人暮らし高齢者宅を訪問している。また、防犯対策として、民生委員が一人暮らし・二人暮らし高齢者宅を訪問し、実態確認や声かけ等の注意喚起を行っている。

産業
建設
ふるさと納税
事業

ふるさと納税は、ふるさとや応援したい自治体に寄付ができる制度で、寄附の額に応じて所得税等の控除額に参入することができる。

問 ふるさと納税寄附金が、昨年度比1億7,695万7千円増の2億4,573万円に伸びた理由は。

答 全国的に返礼品率30%に均一化されたこと、アイリスオーヤマ製の生活用品の返礼品を取り扱っていること、ふるさと納税サイトの拡充・ワンストップ特例制度を利用する等の寄附がしやすい環境を整えたこと等が要因と考えられる。

議案審議結果

議案審議結果一覧

賛成と反対がわかれたもの

○…賛成 ×…反対 -…退席又は欠席

会議名	提出者	議案番号	件名	審議結果 (賛成:反対)	市民クラブ				志政クラブ				日本共産党 角田市議員団		創生会		無党派		
					高橋力雄	湯村勇	星守夫	細川健也	堀田孝一	八島利美	武藤広一	黒須貫	日下七郎	八島定雄	武田曉	小湊毅	馬場道晴	渡邊誠	相澤邦戸
第398回定例会	市長	議案第53号	角田市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の一部改正等について	可決 (13:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
		議案第58号	市立学校条例及び児童厚生施設条例の一部を改正する条例の一部改正について	可決 (13:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
		議案第60号	令和元年度角田市一般会計補正予算(第3号)	可決 (11:4)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
		議案第67号	平成30年度角田市一般会計及び各種特別会計歳入歳出決算の認定について	可決 (10:5)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×
		議案第68号	平成30年度角田市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決 (13:2)	○	○	○	-	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○

議長(柄目孝治)は採決に加わらない。

全員が賛成したもの

会議名	提出者	議案番号	件名	会議名	提出者	議案番号	件名		
第398回定例会	市長	議案第48号	教育委員会委員の任命について	第398回定例会	市長	議案第62号	令和元年度角田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		
		議案第49号	固定資産評価審査委員会委員の選任について			議案第63号	令和元年度角田市介護保険特別会計補正予算(第2号)		
		議案第50号	角田市長期総合計画条例の制定について			議案第64号	令和元年度角田市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		
		議案第51号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について			議案第65号	令和元年度角田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)		
		議案第52号	角田市長期総合計画審議会条例の一部改正について			議案第66号	令和元年度角田市水道事業会計補正予算(第2号)		
		議案第54号	児童厚生施設条例の一部改正について			議案第69号	債権の放棄について		
		議案第55号	角田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について			議案第70号	和解について		
		議案第56号	角田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について			議案第71号	角田市土地開発公社の解散について		
		議案第57号	角田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について			議案第72号	令和元年度角田市一般会計補正予算(第4号)		
		議案第59号	角田市水道事業の設置等に関する条例等の一部改正について			第399回臨時議会	市長	議案第73号	識見を有する者のうちから選任する監査委員の選任について
		議案第61号	令和元年度角田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)					議案第74号	議員のうちから選任する監査委員の選任について

議員のうちから選任する監査委員の選任

《再任》湯村 勇(後沖行政区)
○任期 令和元年10月2日
令和5年9月30日

識見を有する者のうちから選任する監査委員の選任

《再任》南部 信一(新中島北行政区)
○任期 令和元年10月4日
令和5年10月3日

人権擁護委員の候補者の推薦

《再任》齋藤 みつ(鳩原行政区)
○任期 令和2年1月1日
令和4年12月31日

固定資産評価審査委員会委員の選任

《新任》湯村 周一(東仲町行政区)
○任期 令和元年10月1日
令和4年9月30日

教育委員会委員の任命

《新任》大内 啓邦(立町行政区)
○任期 令和元年10月1日
令和5年9月30日

皆さんからの陳情

●横倉小学校敷地内自動車通路の整備を求める陳情

・角田市横倉字杉ノ堂7
角田市立横倉小学校父母教師会
代表 池田 寛幸

8人の議員が市政を問う

一般質問とは、角田市のさまざまな課題等に対して、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えなどを質問することができます。
質問した議員ごとに要約してお知らせします。

議員名	質問項目	頁
相澤邦戸	角田市男女共同参画計画（第2次）について	11
八島定雄	「角田市における『教員の働き方改革』はどこまで来ているのか」について 加齢性難聴者に対する補聴器購入への支援制度導入について その他の質問 ・学童保育の職員基準緩和問題について ・これで子どもの命守れるか	10
武田 曉	消費税増税の影響について	10
八島利美	SDGs（持続可能な開発目標）による地域活性化の推進について	9
馬場道晴	子育てしながら働き続けられる環境について	9
黒須 貢	地域自治組織のあり方について	8
日下七郎	東根橋の危険（腐食損傷での劣化）な車道の欄干（防護柵）改修工事について その他の質問 ・角田市地内の阿武隈川に架かる4カ所の橋梁の維持管理について ・内町ため池の水質汚染に関する事について	8
小湊 毅	道の駅かくだのこれまでとこれからについて	7

議員▼4月19日に道の駅かくだがオープンして約4カ月になる。令和元年度の計画は、レジ通過者19万5,000人、売上高2億6,612万円、経常利益が58万円である。4月から7月までの月ごとのレジ通過者と売上高また、年間の計画が実現できる見込みなのか。
市長▼テナント2店舗を除いたレジ通過者と税抜き売上高は、4月は12日で2万3,726人、1,885万円。5月は4万2,320人、3,154万円。6月は2万6,127人、2,295万円。7月は2万2,000人、1,798万円。開業から7月末までの104日間のレジ通過者数11万4,173人、売上高9,132万円。当初計画の19万5,000人2億6,600万円は達成できると見ている。
議員▼ヤマザワさんの出店に対処する計画は立てられているのか。
市長▼ヤマザワ角田店は、

9月下旬にオープン予定と伺っている。特別な対策は計画していないが、いろいろと対応すると現場から聞いている。
議員▼冬場から春先にかけて売上げを維持する為の計画が立てられているのか。
市長▼年間通して出荷できる体制を作ろうということ、ビニールハウス等の設置をする場合の補助制度を作っている。秋冬期間の園芸作物の増産を目的として西洋野菜栽培の研修会をJAみやぎ仙南との共催で行った。
議員▼売上を伸ばして利益を上げ、指定管理料（年1,200万円）を減らし、使用料を市に支払うような運営会社の姿が望ましい。
市長▼「株まちづくり角田」が目指すのは、そのようなことと伺っている。将来的には、指定管理料を安くできるような、努力をしていく。
議員▼生産者の方から直売所の出品スペースが狭

いので出せないという苦情を聞く。
市長▼そんなに狭い感じはしないと思っている。広いスペースの平台にただ並べて置くのではなく、2段3段のところがあり、面積的には倍以上になっていると思う。屋根つき広場等で店頭販売をするという工夫もしている。
議員▼道の駅とスポーツとの連携だが、近年特に盛んになってきている自転車に対しての配慮がない。自転車愛好者の方の拠点になるようにすべき。
市長▼道の駅開業当初はなかなか立ち寄って頂けなかった。休憩されて、トイレも利用されていて、フードコートを利用される方が多くなってきたので、スタンドを早急に準備することになっている。道の駅を拠点にし、丸森町と組んで阿武隈川沿いを走るという連携も出てくるので、広域的な連携のもとにやっていくことも大事だと思っ



道の駅かくだのこれまでとこれからについて

小湊 毅



東根橋の危険（腐食損傷での劣化）な車道の 欄干（防護柵）の改修工事の促進について

日下 七郎

議員▼宮城県管理の東根橋は、車道及び歩道の兼用として昭和43年12月に竣工し、現在は、車道・歩道が分離され、歩行者の安全は確保されているが、車道の防護柵は腐食損傷で劣化し、危険である。東根橋の車道防護柵の現状について、どのような判断をしているか、市長に問う。

あるなど前から気づいていたが、改めてご指摘いただき現場を確認すると、この防護柵は相当腐食しており、危険な状態だと思った。市職員が現場を確認したところ破損箇所は数十カ所あり、補修を早急に行うようにすべきと判断している。

求めるべきではないか。都市整備課長▼写真のとおり、防護柵の横の部分が腐食し、一部朽ちている状態になっている。防護柵の工事については、工期が令和元年～令和2年で、それまでの間、宮城県土木事務所に、角田市から安全対策を講じるよう要望している。何らかの対策が講じられるものと理解している。

市長▼東根橋は、長さが573m、幅員6メートルで、昭和43年度に架橋されて既に50年が経過している。平成29年度に管理者である宮城県が橋梁点検を実施し、その結果、構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態との評価区分3の早期措置段階判定となり、現在、橋梁の補修を実施しているところである。

なお、私も随分、錆が



▲腐食損傷が激しい東根橋の車道の防護柵

議員▼地域の行政組織・自治組織のあり方について、見直しの方向性と進捗状況を市長に問う。

市長▼自治センターは、教育機関から、まちづくり、地域住民活動の拠点の役割を担う機関へと変えて行く考えだ。行政区の再編は、年内にその仕組みについて地域で話し

合ってもらおう。地区振興協議会のあり方は、それぞれの地域の実情に即した見直しが必要だと認識している。

議員▼地区振興協議会が10年を経過し検証が行われたと認識しているが、導き出された成果や課題などはどのように見直しに反映されるのか、市長に問う。

市長▼まず、自治センター、地区振興協議会、行政区再編の進め方について、行政区長連絡協議会の役員会の後、10月に各地区行政区長会で意見交換会、12月に行政区長連絡協議会で自治組織の研修会を実施したい。地区振興協議会や行政区の再編については、人口減少、少子高齢化が進む地区を対象にモデル地区を設定し、地域と相談しながら進めたい。

地域自治組織のあり方について

黒 須 貫



議員▼自治センターのあり方の再検討の方向性と進捗状況について、市長、教育長に問う。

市長▼教育機関としての役割から、持続可能な社会を実現する「コミュニティづくり」と地域活動団体を支援していく自治センターに変えていく必要があると考える。

教育長▼市長部局へ移管したうえで持続可能な社会を実現する人づくりの

議員▼これからの地域の行政自治のあり方を模索するとき、これまで過疎化対策に取り組んできた地域の事例が参考になる。広く事例を集め、柔軟に検証・比較すべきと考えますが、市長の所見を問う。

市長▼良い例を参考にしながら、角田市でできることを模索していきたい。



子育てしながら働き続けられる環境について

馬場道晴

議員▼本市の職員の男女別育休取得対象職員数、取得日数、取得期間（日数）、育休取得率について問う。

市長▼男女別育休対象職員数について、育休休業資格を有した職員は平成29年度が17人。育休休業を取得した職員は、男性が1人、女性が全員で6

人。同じく、平成30年度の対象者は23人。育休休業を取得した職員は女性全員で11人。育休の取得率は、平成29年度、平成30年度、女性職員は対象となる全員が取得し100%、男性職員は、平成29年度に対象者11人中1人が取得し9.1%、平成30年度は0%である。

議員▼職員が育休を取得しやすいように特に男性職員に対して、どのように周知し、配慮をしているのか問う。

市長▼核家族化が進展する現在、夫婦以外に育児等の援助を受けにくい状況下において、父親の育児参加は母親の育児への負担を減らすためになくしてはならないものと思う。

一方で、育休休業期間は給与等の支給がなくなり、多くの場合、家計の主筆者たる男性職員の育休休業取得では、収入面での弊害も大きく、取得の可否について、各家庭の判断に委ねざるを得ない状況にある。今後は、対象となる男性職員に対して、長期間の取得だけでなく、月単位や時間単位の短期取得、子どもが1歳にな

り母親が復職した後には時期をずらして取得するなど、取得に向けて数多くの制度を提案していく。

おたふく風邪の予防接種の助成について

議員▼おたふく風邪の予防接種の助成について、市民の方から、「今は助成があつて当たり前の時代ではないのか」との意見を受けた。現在、巨理町、山元町、岩沼市、名取市、丸森町、蔵王町でも助成を行っている。子育て支援として、本市においても助成を行うべきと思うが、市長の考えを問う。

市長▼以前にロタウイルスの接種についても要望があつた。おたふく風邪の予防接種とこれが一体的なものになっており、全国市長会としてしっかりと国に要望し、国で検討を進めている段階にある。国が早く判断をし、定期接種にすることが大事だと思つた。任意接種は様々な問題が発生するので、しっかりと対応できる制度設計を国ですべきだと考える。



SDGs（持続可能な開発目標）による地域活性化の推進について

八島利美

議員▼少子高齢化をはじめ、生産年齢人口が急減している地域社会で、様々な課題が山積している。SDGsを取り入れ、未来を構築し行動することで、持続可能な地域社会を構築すべきと考えますが、SDGsの概要について問う。

市長▼193の国連加盟国全会一致で採択され、全世界の市民社会や企業、国会議員、その他の主体も支持している。日本でも推進本部を設置し、国家戦略としてSDGs実施方針を決定した。誰一人取り残さない社会の実現を目指した考え方は、行政目的とも合致し、急激な人口減少を見据えた持続可能な地域社会の実現に資するもので、行政経営を進める上で強く意識しなければならぬと考えている。

時に取り組み方についても検討していく。

議員▼推進組織を整備する考えはないか。

市長▼まだ組織を整備する考えはないが、いずれ日本全体や県が方向性を示すと思うので、歩調を合わせていきたい。

議員▼次期総合計画にSDGsを取り込む考えはないか。

市長▼総合計画のリーディングプロジェクトにSDGsの理念を取り入れていきたい。

議員▼経済・社会・環境の3つの視点から持続可能なまちづくりを推進するため、SDGs未来都市への選定と先進事例となるモデル事業認定に取り組み考えはないか。

市長▼阿武隈川の河川環境の活用で道の駅やKSPも含めて色々な施設を整備し、賑わいをつくり、健康づくり、活かすなど、健康長寿社会、人生100年時代をどう過ごすかという大きな目標を持つて事業展開しているが、それをSDGsのモデル

議員▼理解を深めるため、職員や関係者向けの研修会等を行う考えはないか。

市長▼総合計画等に取り組み際、この概念が重要になってくるので、その

事業として位置付ければ一番取り組みやすい。この他にも角田の強みを生かしていくために、この理念をうまく取り込んで事業を進めていきたい。

議員▼SDGsの考え方により住民同士がつながり共鳴し、互いに高め合い、人と経済が循環することにより、大都市も地域も関係なく全ての日本人が求める真の豊かさの力が、それぞれの地域の生活にあると考えるが、SDGsについて市長の所見を問う。

市長▼SDGsとは、将来ともに持続できるまちづくりの目標と理解している。いかに角田市を将来ともに持続でき、未来に繋ぐ政策ができるかだと思つた。モデル都市の新潟県見附市が、歩いて暮らせるまちづくり、住んでいけるだけで健康で幸せになれる健康都市の実現を目指している。こういったことも参考にしながら、角田市が一歩前進するようにしたい。

8人の議員が市政を問う



角田市男女共同参画計画 (第2次) について

相澤邦戸

議員▼平成31年3月に策定された角田市男女共同参画計画の趣旨に「平成16年の計画実施により、取り組みは広まってきているものの、性差に関する偏見や社会制度・慣行等が今なお残っており、一層の努力が必要とされている。理念及び推進の必要性を市民に広く普及啓発し、男女共同参画社会の形成を更に促進する

ため国や県の計画を勘案し、この計画を策定する」とある。

前計画と比べ、大きく改革されたことは何か。

市長▼農林水産業、商工自営業、防災における男女共同参画を新たに基本目標として加えた。

議員▼①男女共同参画の視点に立った社会組織・制度づくり。②普及啓発活動の充実について、どう実行していこうとしているのか。

市長▼①女性の参画は必要不可欠である。より気軽に参加できるよう審議会のあり方についても検討していく。②市民・事業者・関係団体などと連携しながら努めていく。

議員▼①育児休業や、年次有給休暇の取得率の向上に向けた啓発。②子育て家庭の経済的負担を軽減するため、各種支援制度の充実。③DVに関する知識の啓発について問う。

市長▼①角田市は低い。国・県と連携しながら取り組んでいく。②出産祝い金、第3子以降の入学祝い金を支給している。子ども医療費助成の所得制限撤廃を検討している。③乳幼児健診時にチラシ等を配布している。

議員▼住民自治組織等の活躍で、方針決定の場への女性参画が拡大するよう情報提供及び意識啓発について問う。

市長▼行政区長連絡協議

会、各種団体の研修会等で周知・啓発に努めている。

議員▼防災会議等への女性の登用について問う。

市長▼防災分野において女性の意見や意思表示は大変重要である。更に女性団体に参画を呼びかけていく。

議員▼女性防災士を登用してはどうか。

市長▼参考とする。

議員▼計画の指標では、項目毎に目標値を掲げているが、どの様に達成していこうとするのか、具体的施策を問う。

女性委員の審議会登用率を27.5%から45%にすることについて

市長▼男女の隔たりが無いよう配慮しながら、女性も参画しやすくなる様を検討していく。

議員▼子育ての支援や環境に関しての満足度を13.8%から30%にすることについて

市長▼親子が安心して集まれる身近な場所や、楽しく遊べる場所を増やして欲しいという部分で、Kスポの中で子どもの遊び場を検討していく。

議員▼角田市役所の男性職員の育児休業取得率を0%から10%にすることについて

市長▼まず、短時間の育児休業の取得、次に休暇を取った場合の昇級、復帰後の仕事のポスト等々考えていく必要があると思っている。

「意見募集(パブリックコメント)結果

9月1日～30日の期間で「長期にわたり議員活動等ができない議員の議員報酬、期末手当の減額について」のご意見募集(パブリックコメント)をさせていただき、市民の皆様から多くのご意見をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

頂いたご意見を真摯に捉え、今後協議を行う所存です。

なお、頂いたご意見に対し、議会としての考え方を整理し、後日、ホームページでお知らせいたします。

長期にわたり議員活動等ができない議員の議員報酬、期末手当の減額についてのご意見の主な内容(抜粋)

- 議員報酬・期末手当が職務の遂行に對しての対価であるならば、減額することは当然と考える。
- 病欠とはいえ、支払われる議員報酬・手当は、市民の納める血税である。長期間活動ができない場合は、本人・家族が判断して、辞職等も考えるべきである。
- 企業(公務員)であれば、有給休暇等があり、ある程度カバーできるし、1年以内の休暇であれば、今回示されている報酬等額より低額である。

ただし、一年以上活動ができない場合は、議員を辞職すべきと思う。

議会日誌

7月	8月	9月	10月
26日	26日	25日	25日
第398回定例会招集告示	第399回臨時会招集告示	第399回臨時会招集告示	第399回臨時会招集告示
会派代表者会議	議員協議会・議会運営委員会	議会協議会	議会協議会
1日	1日	1日	1日
かくだ市議会だより203号発行	かくだ市議会だより203号発行	かくだ市議会だより203号発行	かくだ市議会だより203号発行
2日	2日	2日	2日
本会議(第1日)	本会議(第1日)	本会議(第1日)	本会議(第1日)
会派代表者会議	会派代表者会議	会派代表者会議	会派代表者会議
13日	13日	13日	13日
本会議(第2日)	本会議(第2日)	本会議(第2日)	本会議(第2日)
決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会
2019日	2019日	2019日	2019日
決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会
21日	21日	21日	21日
会派代表者会議	会派代表者会議	会派代表者会議	会派代表者会議
2322日	2322日	2322日	2322日
決算審査分科会(総務財政・産業建設)	決算審査分科会(総務財政・産業建設)	決算審査分科会(総務財政・産業建設)	決算審査分科会(総務財政・産業建設)
2726日	2726日	2726日	2726日
常任委員会(総務財政・教育厚生・産業建設)	常任委員会(総務財政・教育厚生・産業建設)	常任委員会(総務財政・教育厚生・産業建設)	常任委員会(総務財政・教育厚生・産業建設)
2928日	2928日	2928日	2928日
決算審査分科会(総務財政)	決算審査分科会(総務財政)	決算審査分科会(総務財政)	決算審査分科会(総務財政)
30日	30日	30日	30日
全員協議会	全員協議会	全員協議会	全員協議会
11日	11日	11日	11日
本会議(第1日)	本会議(第1日)	本会議(第1日)	本会議(第1日)
議会だより編集会議	議会だより編集会議	議会だより編集会議	議会だより編集会議

角田高校3年生との『まちづくりワークショップ』の報告

11月6日に角田高校3年生との『まちづくりワークショップ』を角田高校にて開催しました。議員と高校生が話し合う場を設けたのは、昨年に引き続き今回で2回目です。

『10年後 目指したい角田を考えよう!』をテーマに、楽しく、そして真剣に話し合いが行われました。

生徒からは、「皆で楽しめる娯楽施設がほしい」や「ずっと働ける職場がほしい」等のほか、「災害に強いまちになってほしい」等、今回の台風19号の体験も寄せられました。

最後に、校長先生の講評において「今日は、将来の角田市のために自分で取り組んでみたいことを話し合った。『SNSでの情報発信』や『ボランティア活動に参加する』等の意見が出ていたが、自分たちができることを発見し、実践していくことが重要である」とお話をいただきました。

角田高校の生徒は、台風の被害に遭った家庭にいち早くかけつけてボランティア活動を行い、大変感謝されています。被災された地域の復旧・復興が早く進むよう、角田市議会としても精力的に取り組んで参ります。



▲『現代社会』の授業の中で行いました

(1) 角田市の現状



- **魅力 (いいね!)**
 - 地域の行事が面白い
 - 宇宙関連施設がある
 - スポーツ施設が充実している
- **課題 (残念!)**
 - ▲交通の便が悪い
 - ▲遊ぶ所が少ない
 - ▲働く場所が少ない
 - ▲水害になりやすい

(2) どんな角田を目指したい(10年後)



- ★災害に強いまち
- ★若者からお年寄りまで楽しめるまち
- ★観光客が多いまち
- ★ファーストフード店やショッピングモールなどがあるまち
- ★高齢者が安心して暮らせるまち
- ★交通の便が良いまち

(3) 取り組んでみたいこと



- ◎ボランティア (災害時も含め) に参加する
- ◎既存施設を活かしてスポーツチーム強化・アスリートを育成する
- ◎ずっと働きたいと思える職場を増やす
- ◎角田市の良い所を SNS 等で発信する
- ◎公共交通を発達させる

編集後記

この度の台風19号災害で、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

議会といたしましても、一日も早く元の暮らしに戻るよう、復旧・復興に全力で取り組んでまいり所存です。

少子高齢化問題をはじめ、当市の抱える様々な問題に対して、常に市民目線で真摯に向き合い、更なる「開かれた議会」の実現に向けて、取り組んでまいりますので、議会に対して気軽に意見・要望等をお寄せ頂きますようお願いいたします。

議会だより編集会議

会長 武藤 広一

議会を傍聴しませんか。

12月定例会の予定

会期 12月3日(火)～12月19日(木)

本会議の日程 (午前10時開会)	
3日(火)	提案理由の説明
12日(木)	質疑・自由討議
17日(火)	討論・表決・一般質問
18日(水)	一般質問
19日(木)	最終日

※日程は変更になる場合があります。
※ライブ配信も行います。

ライブ・録画配信をやっています

<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>

インターネットを利用したパソコン・スマートフォン・タブレット端末及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでもライブ中継がご覧になれます。



また、インターネットによる録画中継の配信も行っております。

第398回(令和元年8月)定例会

傍聴者数 22人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ139人

インターネット録画中継視聴者数

7月～9月 延べ583人